

## 大学

創造表現学部 創造表現学科 メディアプロデュース専攻

メディアコミュニケーション演習Ⅰb

村上泰介准教授

人と人をつなぐ「共生のメディア」を、  
多様な表現技術で追究していく。

「世代、性別、障がい、文化、言語など、私たちはさまざまな『違い』を持っています。その一人ひとりが互いを理解し合うツールとなるのが『メディア』です」。そう語る村上先生は「共生のメディア」をテーマに、学外にも学びのフィールドを広げていきます。今年夏、3年次のゼミ「メディアコミュニケーション演習Ⅰa」では、学生同士が協働し、愛知県児童総合センターでワークショップを実施。映像や光、ロボットなどをプログラム制御し、子どもたちの感性や好奇心を刺激する体験型メディアを形にしました。この実践を経て、後期は個別制作に取り組みます。村上先生は「誰に何をどうメッセージするのか？ 伝える相手や社会を見据えて、多様な表現技術を柔軟に使い、発信してほしい」と学生たちの創造力を豊かに引き出しています。



# 愛知淑徳の授業

生徒・学生の意欲に応え、一人ひとりの可能性を広げる愛知淑徳学園のさまざまな授業を紹介いたします。

## 中学校

愛知淑徳中学校

社会(地理)

村林美佐教諭

地図から世界や日本を学び、  
自分を取り巻く世の中の動きを捉えよう。

「中学1年生の地理では、教科書を使わず、本校オリジナルテキストと地図帳で授業を進めます」と語る村林先生は、生徒が主役となって学べる場づくりを大切にしています。世界地理の単元では、ヨーロッパの白地図を広げ、EU加盟順に色分けするワークを実施。生徒は各国の動向を視覚的に理解した上で、「EUがどのように拡大したか」を言葉で説明できるように仲間と意見を交わします。また、日本地理の単元ではグループ学習を重視し、各地方の特性について生徒主体で調査・発表します。こうした授業を村林先生が行うのは、生徒たちの「世界を認識する力」を伸ばしたいから。「私たちを取り巻く世の中が、どのように動いているのか。一人ひとりが国内外へ関心を広げていけるように今後、GIS(地理情報システム)も積極的に取り入れ、知的好奇心をさらに刺激したいと思います」。

